

明治十年戦役の図



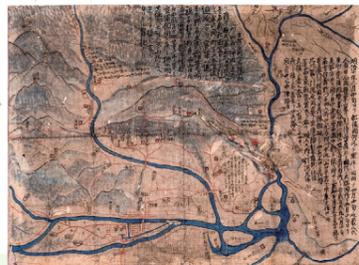
明治10年(1877年)1月29日、私学校生徒たちによる武器・弾薬略奪を契機に政府軍と対決することになった西郷隆盛は、「おいが体は、おまんさあ方にさしあげもそ」と政府尋問の兵を挙げました。2月21日、熊本川尻で始まった戦闘は、西郷軍が熊本城を攻略できず、政府軍の戦力増強もあって田原坂で敗退、以後は人吉、宮崎、佐土原、高鍋、美々津と転戦、必勝を期した延岡和田峠で政府軍に敗れた西郷は、解兵を宣言。自らは同志約600人と可愛岳を突破して鹿児島に向かいました。掛け軸の上部は「可愛嶽」を中心に戦争の経過を解説、各地の地名等が記されています。

9月1日、14日間をかけて鹿児島突入を果たした西郷軍は、城山に籠もります。政府軍は9月6日には城山を完全包囲、10日には政府軍8個旅団が集結しました。掛け軸下部には、火を噴く鹿児島城本丸・二の丸を中心に東は八坂神社、南は下町、西は西田橋から新上橋、北は城山後方まで二重・三重に柵を巡らし、蟻の這い出る隙間もないほど政府軍が取り囲み、鹿児島湾には7隻の軍艦が描かれています。

運命の9月24日、午前4時を期して政府軍の総攻撃が始まります。洞窟に集結した西郷以下村田新八、桐野利秋、辺見十郎太、別府晋介らは岩崎谷目指して進軍、西郷は島津応吉邸前で、右太ももから左腰への貫通銃創を負い、ついに別府晋介に介錯させて自決しました。午前6時半ごろのことだといえます。その後、他の兵士らも次々と戦死、約160人が亡くなり、200人ほどが捕虜となりました。(諸説あり)

勝海舟は、翌年の1周忌に「ぬれ衣をほさむともせず子供らのなすがまにまに果てし君かな」の歌を寄せています。

ちなみに、この掛け軸の作者は分かっていますが、西南戦争の経過が詳しく記載され、激戦の様子を伝える貴重な資料となっています。



●掛け軸上部(可愛嶽)



●掛け軸下部(城山)

温故地新

ふるきを温ね、地元を新たに。

■維新ふるさと館歴史シンポジウム 開催

12月3日(日)、今回は鶴岡市から庄内藩家老、菅実秀のご子孫、菅秀二氏をお迎えして、「温故知新～西郷南洲翁遺訓」をテーマに、サンエールがごしまでNHK鹿児島放送局と共催。



●南洲翁遺訓を再認識

菅氏の鹿児島市での初めての講演に県内外から約360名が来場、会場は熱気に包まれました。NHK鹿児島放送局アナウンサーの南洲翁遺訓の朗読、シンポジウムでは西郷南洲顕彰館の徳永館長にも登壇いただき、「遺訓に何を学び、どう生かすか」を考えました。

来場者からは「県外の方から西郷さんの話を聞くめったにない機会に勉強になった」「庄内藩に伝わる西郷の人徳、人となりを知り、より西郷さんを理解することができた」との感想が寄せられました。

■今年も開催します!

維新ふるさと館新春寄席

今年は歴史家 加来耕三氏をゲストに迎え、桂竹丸師匠と福田賢治当館特別顧問の3人で「それぞれの明治維新」をテーマに笑いをお届けします。

「新春の初笑い」は、維新ふるさと館から。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



●今年で6回目

明治維新を分かりやすく、楽しく

維新ふるさと館情報紙
【No.24】

■平成30年(2018年)冬季号
■発行:鹿児島市 維新ふるさと館
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL.099-239-7700/FAX.099-239-7800
http://www.ishinurusatokan.info

わが胸の
燃ゆる想ひに比ぶれば
烟は薄し桜島山



篤姫は桜島の真景図をもって將軍家に嫁ぎ、ふるさとを偲んだ。西郷は桜島が見つめる眼下で月照と入水したが、幸い西郷だけは命永らえた。

月照和尚を警護して薩摩に入った福岡浪士の平野國臣は、その後二度にわたり薩摩に来たが、浪士との交際は厳禁とされ、鹿児島城下に入れなかった。平野は留められた伊集院の地から桜島を見つめ、薩摩に、かつてのような勢いが無いことに失望し、その無念さを歌にした。

わが胸の燃ゆる想ひに比ぶれば

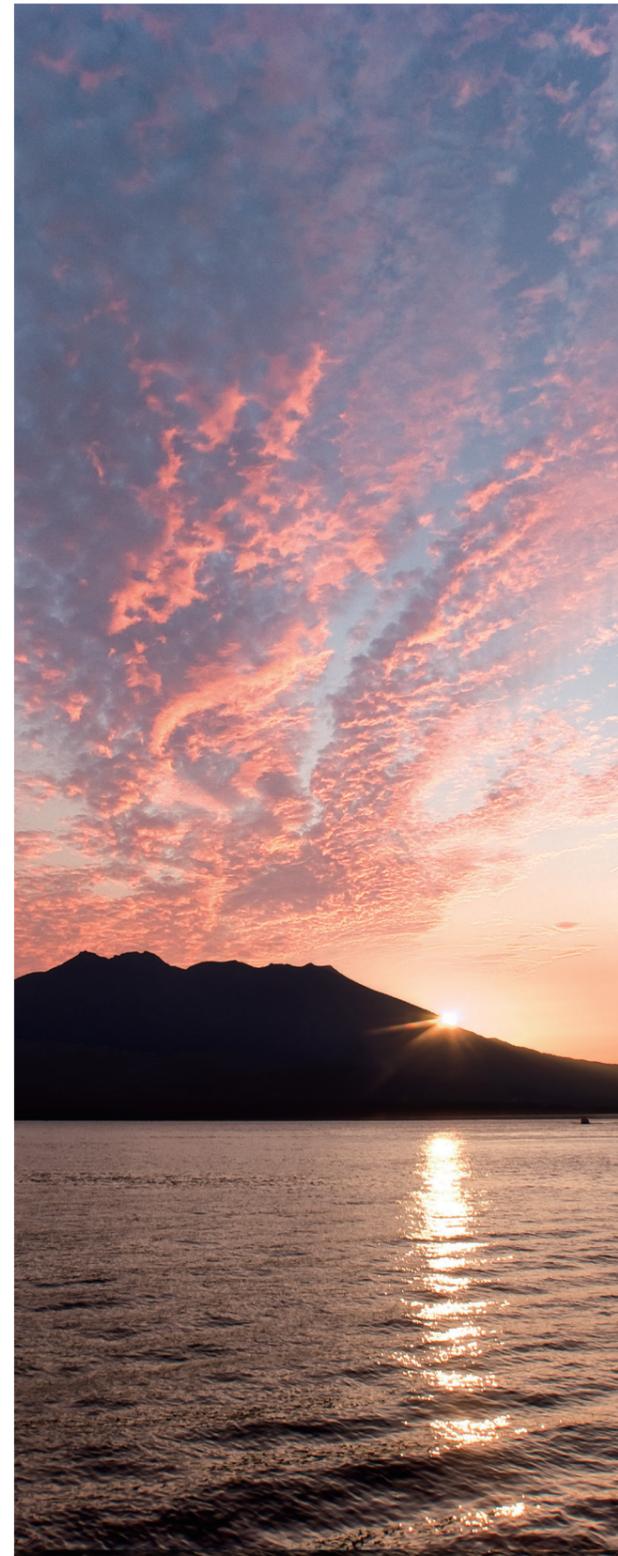
烟は薄し桜島山

桜島が見つめる眼下では、薩英戦争も繰り広げられた。イギリス人は桜島の雄姿と錦江湾の美しさに驚き、湾を取り巻く段々畑の美しさに驚嘆したという。その美しい城下町を攻撃したことがイギリス国内で報じられるや否や、イギリスではニール代理公使らに対し、罪なき鹿児島市民を砲撃したとして抗議運動が起きた。ビクトリア女王は国会開会の際、鹿児島市民に対し謝罪の言葉を述べたのである。イギリスが再度鹿児島を攻撃しなかったのは、こうしたイギリス市民の恩情あふれる思いに助けられたことも一因である。こうしたことも、私たちは忘れてはならない。

一日に容姿を七変化するといわれる桜島は、雄大で上品、薩摩人らしい力強さと包容力を持った鹿児島のシンボルである。あのあわただしい幕末の時代に生きた人々も、幾度となく励まされたに違いない。

桜島は、今までも「眼下の歴史」を見ていたし、これからも見続けていってほしいと思う。

(文/福田賢治 維新ふるさと館特別顧問)



黎明の桜島と錦江湾を望む(鹿児島市吉野町磯)

維新ふるさと館 西郷どん生涯年表穴埋めクイズ

維新伝心

維新の心を伝えます

明けましておめでとうございます。

平成30年(2018年)は明治維新150周年です。維新ふるさと館は、これからも“維新伝心”。維新の心を分かりやすく、楽しく伝えていきます。

今回は、大河ドラマ「西郷どん」にちなみ作成した

「西郷どん生涯年表穴埋めクイズ」をお楽しみください。年表は完成させて大河ドラマを見る時にお使いください。きっと役立つはずです。

クイズ正解者の中から20名に抽選で素敵な景品をプレゼント。皆様のご応募、お待ちしております。



維新ふるさと館 公式キャラクター タカ&つん

1877	1875	1874	1873	1878	1868	1866	1866	1864	1863	1862	1861	1859	1858	1856	1853	1852	1854	1844	1839	1827	西暦	
				G			H										I					年齢
51	49	48	47	45	42	40	39	38	37	36	35	33		32	30	27	26	24	18	13	1	できごと
<p>父吉兵衛、母まさの長男として鹿児島城下の E に生まれる。</p> <p>友人と争い、右ひじを負傷する。武術の修行より読書に精出す。</p> <p>藩の F (筆者寄)となる。</p> <p>お由羅騒動の処分により赤山鞠負が切腹、血衣を父から見せられる。</p> <p>伊集院兼寛の姉 G と結婚。</p> <p>祖父、父、母が相次いで死去。</p> <p>家督相続が許可される。</p> <p>第13代將軍家定へ嫁ぐ A の興入れ準備に奔走する。</p> <p>藩主 B が死去。</p> <p>帰藩し殉死しようとするが、月照に説得され、思いとどまる。</p> <p>近衛家に月照の保護を頼まれる。</p> <p>月照の東目(日向)送りが決定。月照とともに錦江湾に入水。西郷のみが助かる。</p> <p>L と変名。鹿児島出帆。</p> <p>C が誕生。</p> <p>召還状が届く。別れを惜しみ、愛加那のために田二反を買う。</p> <p>鹿児島に召還されるが、 D の下関で待てという命に従わなかったため捕縛。</p> <p>奄美大島から徳之島、その後、沖永良部島に遠島命令が下る。</p> <p>和泊まで行くのに馬を断り、これで歩くのが最後と思ひ、歩いて入牢。</p> <p>B 戦争がおこる。</p> <p>この頃、島の子どもたちに素読などを教える。</p> <p>鹿児島へ召還。上之園の家に帰る。</p> <p>F の変(蛤御門の変)に参戦。</p> <p>大坂で神戸海軍操練所の K に会い、感服する。</p> <p>岩山 D と結婚する。</p> <p>M 同盟を締結。</p> <p>勝海舟と会谈。江戸城無血開城を交渉。江戸城総攻撃を中止。</p> <p>新政府にて H の辞令をうけ、西郷隆盛の名で正三位に叙される。</p> <p>以後、辞令はすべて西郷隆盛となる。</p> <p>薩藩置県の実施。</p> <p>徴兵令の実施により、陸軍大將兼参議となる。</p> <p>朝鮮への使節派遣の問題で大久保と対立、参議の辞表を提出。鹿児島に帰る。</p> <p>佐賀の乱に敗れた江藤新平が山川 J 温泉を訪ねてくる。</p> <p>I (銃隊学校、砲隊学校、幼年学校)を設立。</p> <p>吉野寺山に N を創立。</p> <p>庄内の M ・石川静正らが来鹿。</p> <p>小根占に獵に行き、私学校生生徒による火薬庫襲撃の知らせを受ける。</p> <p>政府へ尋問のため上京すると伝え、鹿児島を出発。</p> <p>N 戦争のはじまり</p> <p>延岡の N 峠で自ら指揮をして反撃を試みるが敗れる。</p> <p>鹿児島に帰り、 N にこもる。</p> <p>官軍の総攻撃により、別府晋介に介錯をうけ、自決。</p>																						

答え 平成30年は

A	B	C	D	E	F		
G	H	I	J	K	L	M	N

【応募方法】

①FAXかハガキで応募 ▶ ②答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入(記入漏れは無効) ▶ ③維新ふるさと館宛に送る

【応募締切】

平成30年1月31日(水)必着

【送り先・問い合わせ】

〒892-0846 鹿児島市加治屋町23-1
 鹿児島市維新ふるさと館
 TEL 099-239-7700 / FAX 099-239-7800

※応募いただいた方の個人情報、景品の抽選・発送のみに使用いたします。

西郷隆盛関連書籍が熱い!~新商品の紹介~

大河ドラマ「西郷どん」放送にあわせて、西郷関連書籍が多数出版されています。その中から、ぜひ読んでいただきたい本をご紹介します。



■西郷どんと明治維新

著者:特定非営利活動法人 西郷隆盛公奉賛会
 価格:540円(税込)

■誰も書かなかった西郷隆盛の謎

監修:徳永 和喜 (西郷南洲顕彰館館長)
 価格:691円(税込)



■新装版 西郷隆盛

著者:海音寺 潮五郎
 価格:907円(税込)



■詳説 西郷隆盛年譜

発行者:公益財団法人 西郷南洲顕彰館
 価格:500円(税込)

他にも西郷関連書籍が充実しています。

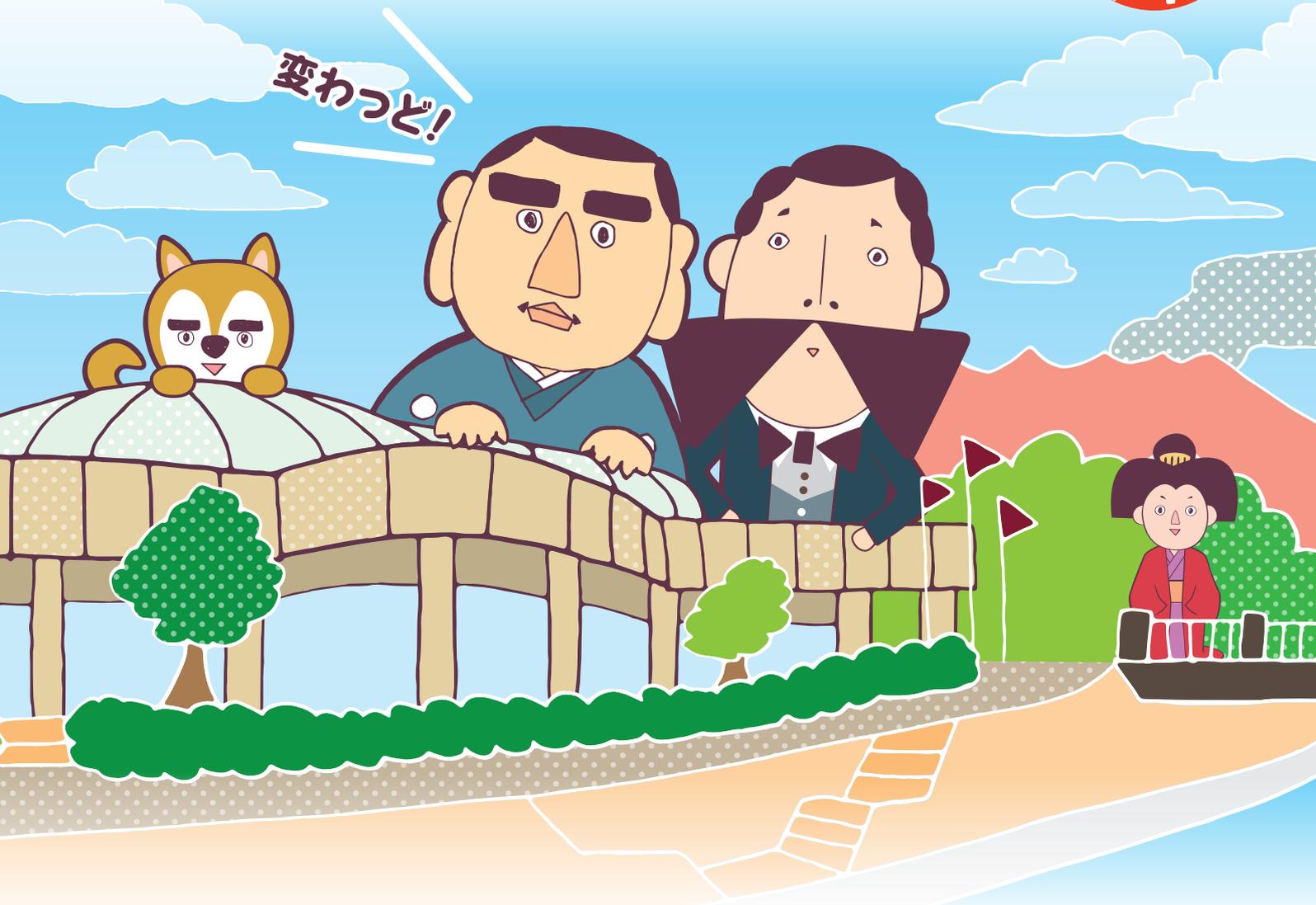
書籍名	著者
その生涯	東郷 實晴
漢詩集	山田 尚二、渡邊 正
西郷どんと薩摩士風	特定非営利活動法人 西郷隆盛公奉賛会
西郷南洲の道と明治維新	鯨島 志芽太
西郷隆盛と薩摩士道	加来 耕三
教え	特定非営利活動法人 西郷隆盛公奉賛会
薩摩史談 西郷隆盛と明治維新	青屋 昌興
西郷隆盛 命もいらす 名もいらす	北 康利
「西郷南洲手抄言志録」を読む	渡邊 五郎三郎
明治維新 1858-1881	坂野 潤治、大野 健一
勝海舟と西郷隆盛	松浦 玲
明治維新と幕臣「ノンキャリア」の底力	門松 秀樹
幕末明治 鹿児島県謎歩き散歩	(監修:徳永 和喜)
西郷どん並製版 上・中・下	林 真理子
西郷どん上製版 前編・後編	林 真理子
西郷隆盛	猪飼 隆明
権力に対峙した男・上巻	米村 秀司

せご
西郷どんとさるく

温故維新マップ

号外

ふる たず
故きを温ねて 維新を知る



維新
— 新

ふるさと館

平成30年1月11日(木)
リニューアルオープン!

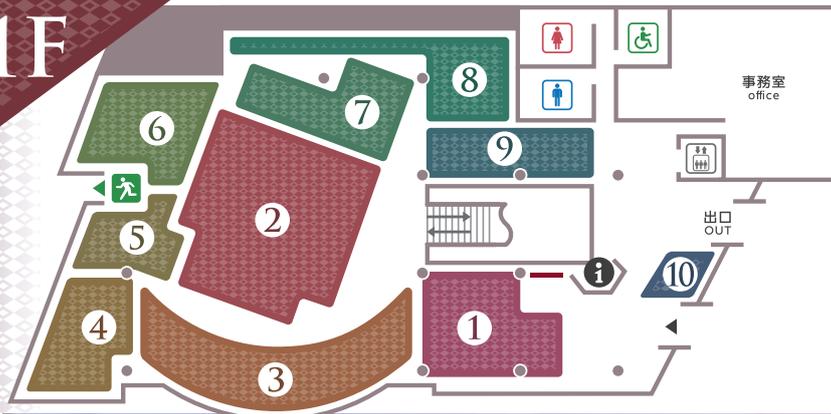
鹿児島市維新ふるさと館の「郷中教育ゾーン」が生まれ変わりました。当時の郷中教育を再現するインタラクティブゾーンの誕生です。
川遊び、自顕流、詮議(せんぎ)、相撲…幼少期～青年期の西郷隆盛たちが体験した遊び、教えをあなたもぜひ体感してください。

郷中教育とは…
江戸時代の薩摩藩において、
立派な武士になるため
地域(郷)ごとに行われた青少年教育

インタラクティブとは…
双方向システムの導入によりプロジェクターで
床等に投影された映像が人の動きに
リアルタイムに反応するシステム

“西郷どん”も学べる道を さるいてみよう!

1F



① ゆくさおさいじやした通り



② 体験しやったもんせ「郷中教育」

- ③ 世界を見ていた薩摩
- ④ あそんでみやんせコーナー
- ⑤ 大河ドラマシアター
- ⑥ 薩摩の偉人・英雄列伝
- ⑦ 篤姫(天璋院)コーナー
- ⑧ 維新常設展示
- ⑨ 薩摩まちあるき
- ⑩ 維新ふるさとショップ



B1 維新の道



薩摩の先人が語りかける。

メインは「維新体感ホール」。ここでは2本のドラマ、「維新への道」と「薩摩スチューデント、西へ」を上演。薩摩の先人が語りかけ、ドラマチック。必見です。

ドラマ

① 「維新への道」

約25分

幕末から明治にかけての歴史の流れを音や光、ロボット等、多彩な演出によって解説するドラマです。



ドラマ

② 「薩摩スチューデント、西へ」

約20分

薩摩藩が鎖国時代にいち早く海外に目を向け、英国へ留学生を派遣した様子をダイナミックに再現したドラマです。



回数	ドラマの内容	開始時刻
第1回	「維新への道」	9:15
第2回	「薩摩スチューデント、西へ」	9:50
第3回	「維新への道」	10:20
第4回	「薩摩スチューデント、西へ」	11:00
第5回	「維新への道」	11:35
第6回	「薩摩スチューデント、西へ」	12:15
第7回	「維新への道」	12:45
第8回	「薩摩スチューデント、西へ」	13:25
第9回	「維新への道」	14:00
第10回	「薩摩スチューデント、西へ」	14:40
第11回	「維新への道」	15:15
第12回	「薩摩スチューデント、西へ」	15:55
第13回	「維新への道」	16:30